

バックエンド監視チーム会合資料 目次案及び概要

令和3年7月8日
バックエンド統括本部

第1回会合に向けて、以下の資料構成としたい。

資料 機構のバックエンド対策の現状と課題・対策について

(1) 原子力機構のバックエンド対策

原子力機構のバックエンド対策について、計画、組織及びその課題対策について概要を説明する。

1) 施設中長期計画とバックエンドロードマップ

それぞれの位置づけ及び関係

2) バックエンド対策のための組織

平成31年4月1日に副理事長を本部長とした「バックエンド統括本部」の設置、その役割と統括の方針

3) 課題と対策

第4中長期目標期間に向けた取り組み

- ① 拠点におけるバックエンド体制の強化
- ② 拠点のバックエンド組織とバックエンド統括本部との連携の強化
- ③ モデル事業の実施

(2) 廃止措置

廃止措置の実績と課題・対策について概要を説明する。

1) 廃止措置の推進

これまでに確保した予算規模と効率的な執行のための取り組み

2) 廃止措置対象施設

施設中長期計画において定めた廃止施設の一覧

3) 廃止措置の進捗状況

廃止施設のうち第3期中長期目標期間で廃止措置を終了できるもの

4) 課題と対策

廃止措置を効果的（効率的、合理的）に推進するため、プロジェクトマネジメントの体制の改善及び強化

(3) 放射性廃棄物処理

廃棄物の性状把握と廃棄体製作に向けた取り組みについて、概要を説明

する。

1) 放射性廃棄物の保管状況

①性状把握の状況

廃棄物の保有量、推定による核種組成等の機構が保有している廃棄物のデータについて、現時点での分類の考え方やデータ取得の方法

②保管の状況

保管容器の点検や必要に応じた補修、詰め替えの取り組み

2) 処分に向けた対応（廃棄体製作）

各拠点で実施している廃棄体製作（廃棄物の分別、放射能濃度評価法の検討及び必要な廃棄物サンプルの核種分析）、今後整備が必要となる設備

3) 課題と対策

廃棄物の保管管理対策と先行事例を参考とした廃棄体製作について方針